

開校年度	2024年度	学科	美容科
科目名	化粧品化学	実務経験のある教員等の授業	-
授業時間	60時間	履修期	1・2年次
担当教員	亀井 光佐		
授業目的	美容の業務を安全かつ効果的に行うためには、化粧品の正確な科学的知識と合理的な取り扱い方法を習熟させ、あわせて、化粧品による危害を防止するための使用上の注意を学ばせること。		
到達目標	美容師国家試験「化粧品化学」の合格を目指す。		
授業方法	講義		

授業概要	
1 章	化粧品概論
1 節	化粧品の社会的意義と品質特性
1	化粧品の社会的意義
2	化粧品の品質と必要条件
2 節	化粧品の規制
1	化粧品の定義
2	化粧品の製造販売の規制
3	化粧品の品質等の規制
4	化粧品の表示・広告の規制
3 節	化粧品の安定性と取り扱い上の注意
1	化粧品の安定性
2	化粧品の経時変化
3	化粧品の使用上、取り扱い上の注意
4 節	化粧品と安全性
1	化粧品と安全性
2	表示成分と安全性
3	化粧品によるトラブル
2 章	化粧品用原料
1 節	化粧品の対象となる人体各部の性状
1	化粧品の種類と機能
2	皮膚と水
3	頭皮や毛髪健康な状態
4	爪の性状
5	まぶたや口唇の性状
6	化粧品のなりたち
2 節	水性原料
1	水
2	エタノール（エチルアルコール）
3 節	油性原料
1	油脂
2	ロウ類
3	炭化水素
4	その他の油性原料
5	油性原料の機能

4 節	界面活性剤
1	界面活性剤の基本的性質
2	界面活性剤の種類
3	界面活性剤の化粧品への応用
5 節	高分子化合物
1	高分子化合物の種類と特性
2	高分子化合物の化粧品への応用
6 節	色材
1	色材と化粧品
2	無機顔料
3	有機顔料（タール色素）
4	光輝性顔料（パール顔料）
5	天然色素
7 節	香料
1	香料と化粧品
2	香料の種類
3	調合香料
8 節	その他の配合成分
1	化粧品原料の品質保持に用いられる配合成分
2	化粧品配合成分があたえる機能
3	その他の特殊成分
9 節	ネイル、まつ毛エクステンション用材料
1	合成樹脂
2	接着剤
3	塗料
3 章	基礎化粧品
1 節	皮膚清浄用化粧品
1	皮膚の汚れと清浄作用
2	石けんの種類とその性質
3	その他の清浄剤
2 節	化粧水
1	化粧水の種類と機能性
3 節	クリーム・乳液
1	クリーム・乳液の皮膚への作用
2	クリームの種類と機能
3	乳液の種類と機能
4 節	その他の基礎化粧品
1	シェービング用化粧品（理容）
2	化粧液（美容液、美容エッセンス）
3	打粉（ベビーパウダー）類
4	パック剤

1 節	メイクアップ用化粧品の種類と剤形
2 節	ベースメイクアップ化粧品
1	おしろい（白粉）類
2	ファンデーション類
3 節	ポイントメイクアップ化粧品
1	紅類
2	アイメイクアップ化粧品
3	ネイル技術用化粧品類（マニキュア製品）
5 章	頭皮・毛髪用化粧品
1 節	シャンプー剤
1	シャンプー剤
2	ヘアリンス剤
3	ヘアトリートメント剤
2 節	スタイリング剤
1	スタイリング剤の機能
2	油性スタイリング剤
3	液状スタイリング剤
4	高分子物質を基材とするスタイリング剤
3 節	パーマ剤
1	パーマの原理
2	パーマ剤の分類
3	パーマ剤第1剤
4	パーマ剤第2剤
5	パーマ剤の使用上の注意
4 節	ヘアカラー製品
1	ヘアカラー製品の種類と染毛メカニズム
2	一時染毛料
3	半永久染毛料
4	脱色剤・脱染剤
5	永久染毛剤
6	ヘアカラー製品の使用上の注意
7	その他のヘアカラー製品
5 節	育毛剤
1	脱毛の原因
2	育毛剤の種類と機能
3	育毛・養毛剤の原料
6 章	芳香製品と特殊化粧品
1 節	芳香製品
1	香水
2	オーデコロン
3	その他の芳香製品
4	芳香製品の効用と使用上の注意

授業概要	
2 節	特殊化粧品
1	サンケア製品
2	美白用化粧品

3	制汗・防臭剤
4	ニキビ用化粧品
<付録>	化粧品化学を理解するための基礎科学
1	物質の構成
2	物質（水）の構造
3	溶解とコロイド
4	イオンと水素イオン指数（pH）
5	物質の変化と化学反応
6	酸化・還元反応
7	タンパク質

評価方法	出席状況、試験（小試験、定期試験）を総合的に評価 60点以上で単位認定
------	-------------------------------------